

KG 550, 770

STIHL



2 - 14 取扱説明書



目次

1	はじめに.....	2
2	使用上の注意および作業方法.....	2
3	運転準備.....	5
4	機械の運搬.....	6
5	操作.....	8
6	作業後.....	9
7	機械の保管.....	10
8	ユーザーによる点検と保守.....	10
9	整備表.....	11
10	磨耗の低減と損傷の回避.....	12
11	主要構成部品.....	13
12	技術仕様.....	13
13	トラブルシューティング.....	14
14	整備と修理.....	14
15	廃棄.....	14

1 はじめに

1.1 シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボルマークは、本取扱説明書で説明されています。

1.2 段落の前に付いたシンボルや数字



人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

1.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

そして、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

2 使用上の注意および作業方法



このパワーツールを使用する時は、安全に関する注意事項を守ってください。



初めて使用するときは取扱説明書をよく読んで理解し、必要なときに見られるよう安全な場所に確実に保管してください。取扱説明書を順守しないと生命を脅かすようなケガを負いやすくなります。

2.1 使用に関する注意事項

このスィーパーは、道路粉塵、落ち葉、草、紙および他の同種の物体を平坦かつ硬い地面から清掃するために設計されています。

健康に有害な物質を清掃しないでください。

このパワーツールは、液体の清掃には適していません。

爆発性のある粉塵、液体、酸や溶剤を清掃しないでください。

爆発の可能性のある環境では、パワーツールを使用しないでください。

パワーツールを輸送手段として使用しないでください。

この機械をこれ以外の目的には使用しないでください。事故の発生や機械の損傷の危険が増大します。製品にはいかなる改造も加えないでください。事故や製品の損傷の原因となる恐れがあります。

2.2 基本的な注意事項

現地の安全規制、基準、条例を遵守してください。

騒音を発するパワーツールの使用が、国や地域の規則によって規制されている場合があります。

このモデルで初めて仕事をする人は：サービス店
またはその他の専門家に、適切で安全な操作方法
を指導してもらってください。

未成年者は本製品を使用しないでください。

作業場所に見物人、特に子供や動物を近づけない
てください。

他者およびその所有物に対して生じた事故または危険に関しては、その一切の責任をユーザーが負います。

パワーツールを貸したり譲渡したりする場合は、取扱説明書を一緒に手渡してください。本機の使用が取扱説明書の記載事項に精通していることを確認します。

パワーツールで作業する人は、十分に休息をとり、身体的・精神的に健康でなければなりません。

激しい労働に耐えられない体調の方は、パワーツールの使用前にかかりつけの医師に相談してください。

アルコールや薬品などを服用した状態では、パワーツールを使用しないでください。視力が低下し、動作や判断が鈍くなる可能性があります。

2.2.1 衣服と装備

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。

STIHL では、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

2.3 パワーツール

人身への傷害の危険性を増加させることがあるので、いかなる方法でも機械を改造しようとしないうでください。STIHL は、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては当社は一切保証を行いません。

2.3.1 パワーツールの運搬

本取扱説明書の関連項目を参照してください：

コンテナのハンドルでパワーツールを運搬しないでください。

乗り物で運搬する時：機械が倒れたり、滑ったり、損傷したりしないよう、適切に固定してください。

2.3.2 パワーツールの掃除

必ずパワーツールから、汚れや泥を取り除いてください - これには、グリース溶剤を使わないでください。

プラスチック表面は、湿らせた布で掃除します。浸食性の洗剤を使用しないでください。プラスチックを傷める可能性があります。

サイドブルームやローラー ブラシ* (* KG 770 のみ) を清掃するときは、尖った物体で手を切ることがないように、丈夫な作業手袋を着用してください。

本パワーツールの掃除に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、パワーツールの部品を損傷する恐れがあります。

水をパワーツールに吹き付けしないでください。

サイドブルームやローラー ブラシ* (* KG 770 のみ) を圧縮空気ですばいしないでください。強力なエアージェットで毛ブラシを損傷することがあります。

2.3.3 パワーツールの保管

本機を使用しないときは、他人に危険が及ばないように、安全に保管してください。無断で使用されないように、安全に保管してください。

パワーツールやブッシュハンドルが倒れないように固定してください。

ケガの危険を低減するため、ブッシュハンドルのヒンジ部分に手を入れないでください - ブッシュハンドルが意図せずして倒れた場合に、身体の

一部がハンドルとハウジングの間に挟まってしまいう可能性があります。

機械を安全な乾いた場所に保管してください。

2.3.4 アクセサリーおよびスペアパーツ

当社が本パワーツールへの使用を明確に承認した、または同等の仕様に基づいた部品およびアクセサリーだけを使用してください。これに関して不明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い合わせください。高品質の部品およびアクセサリーのみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

当社では STIHL 純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

2.4 運転に関する注意事項

2.4.1 使用前

構成部品のどれかが損傷している場合、パワーツールを使用しないでください。

パワーツールが正しく組み立てられ、良好な状態になっているかチェックします - 本取扱説明書の関連項目を参照してください。

- パワーツールを安全に操作するため、ハンドルは乾いた清潔な (オイルや汚れのない) 状態に保ちます。
- ブッシュハンドルがしっかりと取り付けられていることを確認します。
- ハウジングの状態を確認します。
- コンテナの状態および安全状態を確認します。
- サイドブルームやローラー ブラシ* (* KG 770 のみ) に物体が挟まったり、泥が詰まっていないうを確認します - 毛ブラシは自由に動く必要があります。
- 清掃圧力設定を確認し、必要に応じて、清掃する表面に合わせて設定を行います。
- 操作部と安全装置に改造を加えないでください。

事故の危険を低減するため、正しく取り付けられていない機械や良好な状態でないパワーツールは使用しないでください。

2.4.2 作業中

サイドブルームやローラー ブラシ* (* KG 770 のみ) が動かなくなった場合は、作業を止め、妨害物を除去してください。尖った物体で手を切ることがないようにするため、丈夫な作業手袋を着用してください。

回転している毛ブラシには絶対に触らないでください - **ケガの危険があります。**

作業中に、棚や足場などにぶつけないようにしてください。物体がひっくり返ったり、上から物体が落ちてくる危険があります。

降雨の中でパワーツールを屋外に放置しないでください。

コンテナを取り付けずにパワーツールを使用することはしないでください。

滑りやすい状態に特に注意してください (氷、濡れた地面、雪、傾斜や凸凹のある地面)。

事故が発生しやすくなりますので、疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください。

塵埃の発生量が非常に多い場合、防塵マスクを必ず着用してください。

作動動作に目立った変化が認められる場合 (振動が大きくなる、動きが鈍くなるなど) は、作業を停止し、問題の原因を是正してください。

パワーツールに強い衝撃が加わったり落下するなど、設計強度を越える異常な負荷がかかった場合は、作業を続ける前にパワーツールが良好な状態にあることを必ず確認してください (「作業開始前」を参照)。安全装置が支障なく作動することを確認します。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、作業を続けしないでください。不明な場合は、STIHL サービス店にお問い合わせください。

タバコ、灰やマッチなど、燃焼している物体や赤熱している物体を清掃しないでください - **火災の危険があります。**

2.4.3 作業後

使用後は必ずコンテナを空にします。

コンテナを空にするときは、丈夫な作業手袋を着用して、割れたガラス、金属または他の尖った物体でケガをしないようにします。

可能な限り、屋外でコンテナを空にします。

2.5 作業方法

2.5.1 パワーツールの保持と操作

本パワーツールは、一人で操作するように設計されています。作業場所に第三者が入らないようにしてください。



必ず両手でしっかりとプッシュハンドルを保持してください。

パワーツールを前方に押し、状況に合わせて速度を調整します。

2、3 cm の小さな段差を上るときは、プッシュハンドルをわずかに押し下げます。

清掃性能が低下した場合、コンテナがいっぱいになっていないか点検し、サイドブルームやローラーブラシ* (* KG 770 のみ) に物体が挟まったり、摩耗していないかを点検します。

コンテナの堆積物のレベル

清掃しているときに粉塵や土が横から出てくるようになったら、コンテナはいっぱいになっています。

短い時間作業を継続するには、スイーパーの前方を持ち上げて、粉塵をコンテナの後方に動かします。これにより、コンテナの容量いっぱいまで使用できるようになります。

砂利、落ちた切れ端などの重い物体を清掃するとき、スイーパーの重心が後方に動いてしまうことがあります。こうなると、サイドブルームが表面から持ち上がってしまい、清掃の効率が低下してしまいます。

2.6 整備と修理

本機は定期的に整備する必要があります。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行って

ください。その他すべての作業は、販売店に依頼してください。

当社では、整備や修理を STIHL 認定サービス店だけに依頼されることをお勧めします。STIHL 販売店では定期的にトレーニングを受け、適切な技術情報の提供を受けています。

高品質のスペアパーツのみを使用します。そうしないと、事故や本機の損傷の恐れがあります。不明な場合は、サービス店にお問い合わせください。

STIHL 純正スペアパーツのみをご使用いただくように、お勧めします。これらの部品は、本機に対しても、利用者のご要望に対しても、最適化されています。

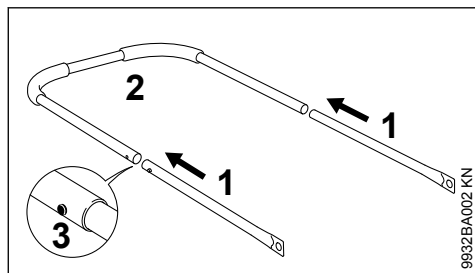
本機にいかなる改造も加えないでください - 非常に危険な場合があります - **事故の危険性があります！**

円形ブラシやスィーパー ローラー* (* KG 770 のみ) を交換するときは、尖った物体で手を切ることがないように、丈夫な作業手袋を着用してください。

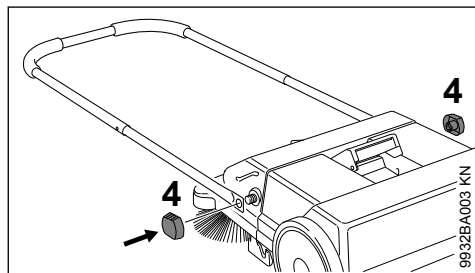
3 運転準備

初めて使用する前に、ブッシュバーを機械に取り付けます。

3.1 KG 550

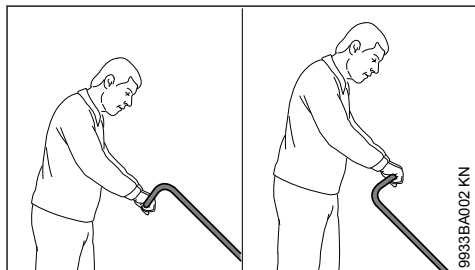


- ▶ パイプ (1) とブッシュバー (2) をつなぎます - 戻り止めスプリング (3) がかみ合う必要があります

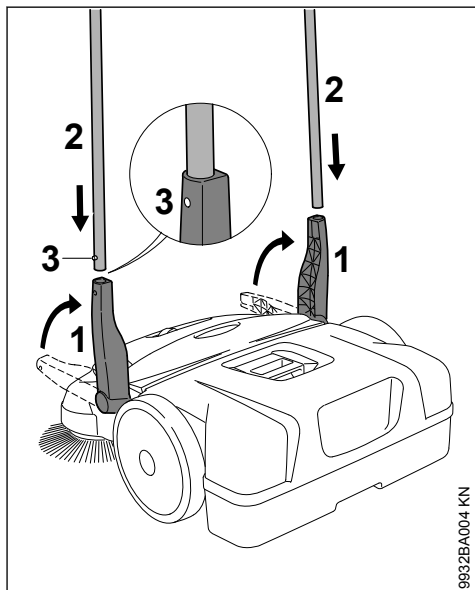


- ▶ ブッシュバーをロック ナット (4) を使用して固定します

3.2 KG 770



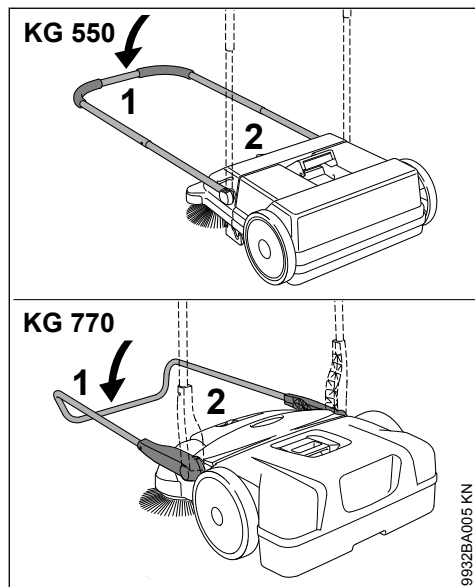
使用者の身長に合わせて、ブッシュバーを 2 段階で高さを変更することができます。



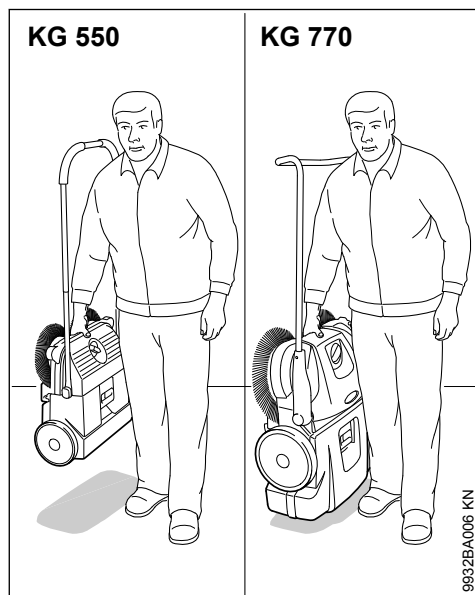
- ▶ ホルダー (1) を上に動かします。
- ▶ ブッシュバー (2) を同時に両方のホルダー (1) に押し込みます - 戻り止めスプリング (3) がかみ合う必要があります

4 機械の運搬

4.1 機械の運搬



- ▶ プッシュバー (1) を前方に折り畳みます
- ▶ ハンドル (2) で機械をつかみ、垂直に立てます

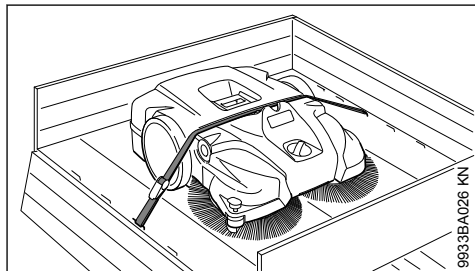


- ▶ ハンドルを持って機械を運びます - 円形ブラシを身体から離してください

4.2 車両

機械を位置合わせして、円形ブラシの毛ブラシが曲がらないようにします。曲がった毛ブラシは、元に戻らなくなることがあります。

曲がった毛ブラシは、ヘアドライヤーで加熱して真っ直ぐにすることができます - 「ユーザーによる点検と保守」を参照してください。



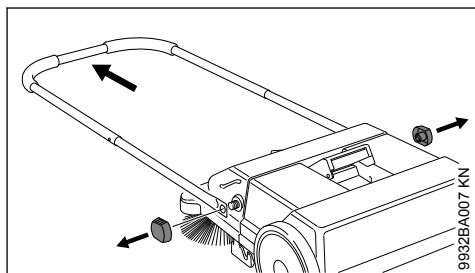
固定ストラップを使用して、機械が滑らないよう固定します。

- ▶ スーパーのコンテナと機械ハウジングの間に固定ストラップを通します。締め付け過ぎて機械を損傷することがないようにしてください

プッシュバーを機械から取り外して、車両で運べるようにコンパクトにすることができます。

4.3 KG 550 - プッシュバー

取り外し



- ▶ ロックナットを外し、プッシュバーをスーパーから取り外します

取り付け

「機械の組み立て」を参照してください

4.4 KG 770 - プッシュバー

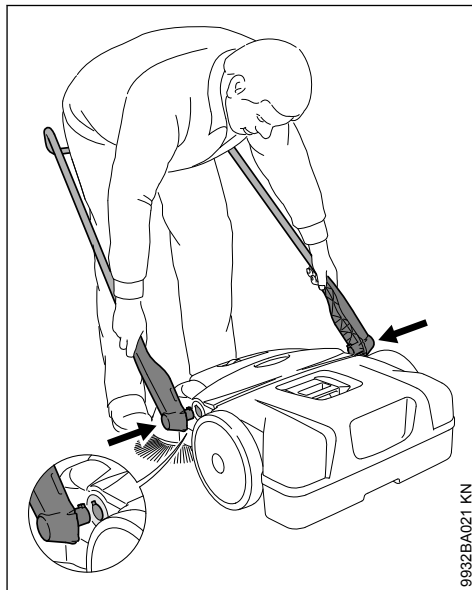
取り外し



9932BA020 KN

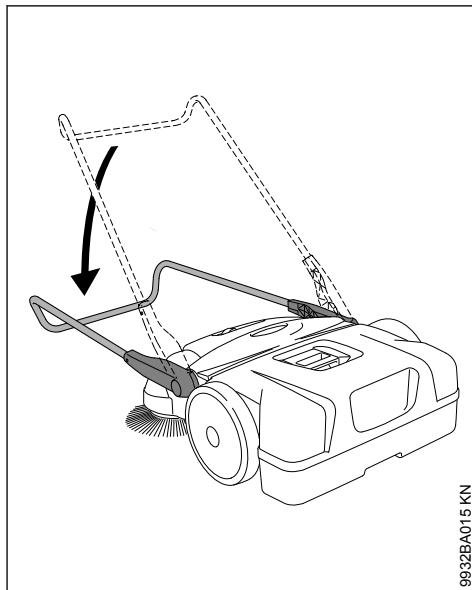
- ▶ 機械の前に立ちます - プッシュバーを地面に対して 45° の角度にします (ホルダーの上部のハウジングに付いている矢印に合わせます)
- ▶ 両方のホルダーをわずかに押し外し、同時に両方の機械のマウントを外します

取り付け



9932BA021 KN

- ▶ プッシュバーの間に立ち、両方のホルダーを手で保持します
- ▶ ホルダーをわずかに押し外します
- ▶ 同時にホルダーを機械の両方のマウントに押し込みます - ホルダーのベグがマウントの溝に合います



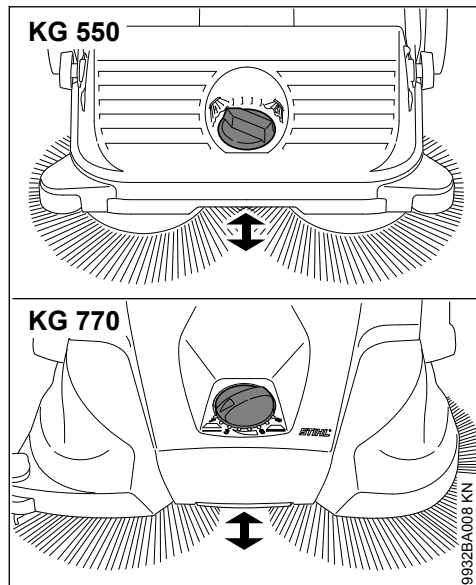
9932BA015 KN

- ▶ プッシュバーを下に傾けます - ホルダーがマウントにロックされ、機械にしっかりと接続されます

5 操作

5.1 サークュラーブラシの高さ調整

高さ調整を使用して、円形ブラシと清掃表面の距離の調整を行います。

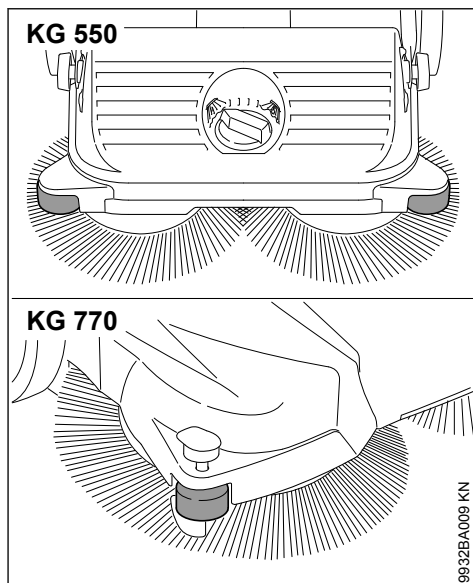


- ▶ ノブを左右に回して、適切なレベルになるようにします：

フェーズ	使用法
1 - 2	平坦な表面
3 - 4	湿った落ち葉、砂、不均一な表面 (例、小石打ち込み仕上げのコンクリート)
5 - 8	毛ブラシの磨耗度に応じた再調整

ディスクブラシの毛は、軽い力でしか地面につかないようになっています。表面への圧力が高すぎると、適切な清掃結果が得られず、摩耗を早めるだけです。

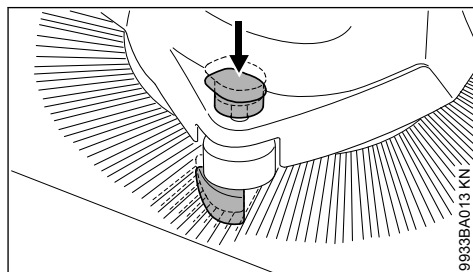
5.2 側面のガイドローラー



側面のガイドローラーにより、機械をエッジ (壁や縁石など) に合わせてガイドしやすくなります。

5.3 KG 770 - ダウンホルダー

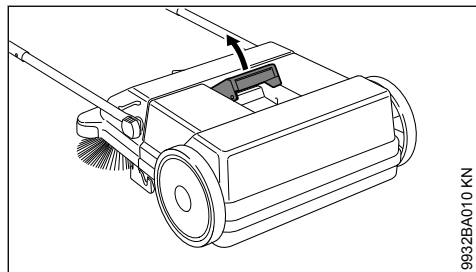
エッジ周辺 (壁や縁石周辺) を清掃するとき、ダウンホルダーを押し下げて、毛ブラシを地面に近づけます。



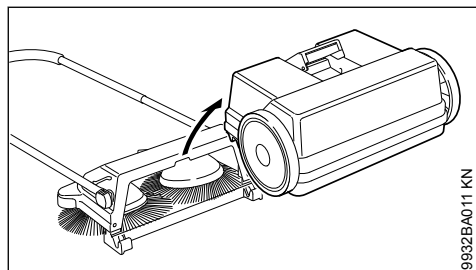
- ▶ ダウンホルダー ハンドルを押し下げます

6 作業後

6.1 KG 550

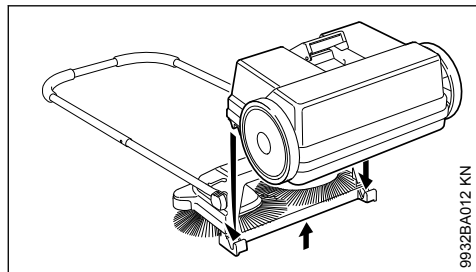


- ▶ プッシュバーを前方に折り畳みます
- ▶ スーパー コンテナのハンドルを引き上げます



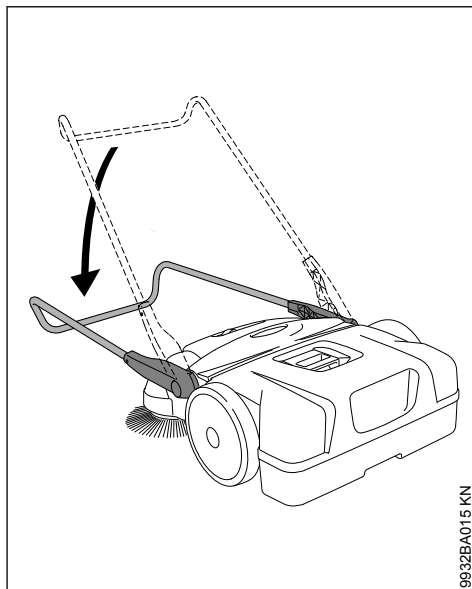
- ▶ スーパー コンテナを外し、空にします

6.1.1 スーパー コンテナを取り付けます

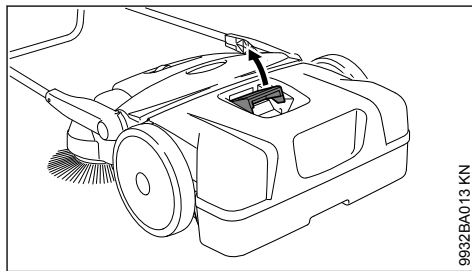


- ▶ 機械をわずかに持ち上げます
- ▶ スーパー コンテナを機械に取り付けます - スーパー コンテナの溝を機械のマウントに取り付けます
- ▶ スーパー コンテナのハンドルをロックします

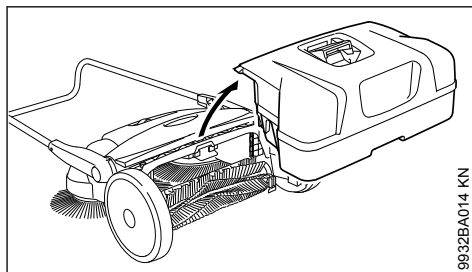
6.2 KG 770



- ▶ プッシュバーを前方に折り畳みます

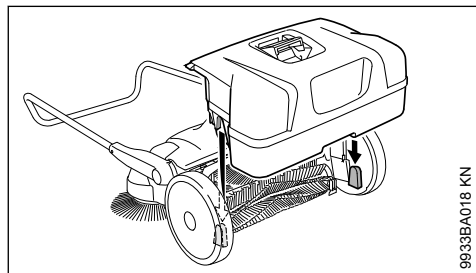


- ▶ スーパー コンテナのハンドルを引き上げます



- ▶ スーパー コンテナを外し、空にします

6.2.1 スーパー コンテナを取り付けます



9933BA018 KN

- ▶ スーパー コンテナを機械に取り付けます - スーパー コンテナの溝を機械のマウントに取り付けます
- ▶ スーパー コンテナのハンドルをロックします

7 機械の保管

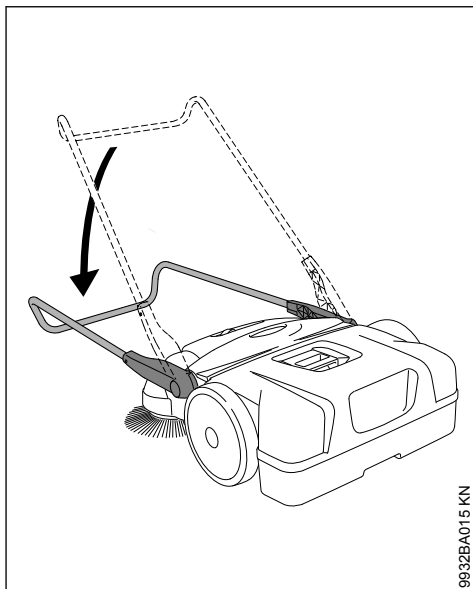
- ▶ 機械を丁寧に掃除します
- ▶ 機械を安全な乾いた場所に保管してください。承認されていない人 (たとえば子ども) が使用しないように、保護します

機械を位置合わせして、円形ブラシの毛ブラシがねじれたり曲がったりしないようにします。ねじれたり曲がったりした毛ブラシは、元に戻らなくなることがあります。曲がった毛ブラシは、ヘアードライヤーで加熱して真っ直ぐにすることができます - 「ユーザーによる点検と保守」を参照してください。

7.1 KG 770 - 機械の保管

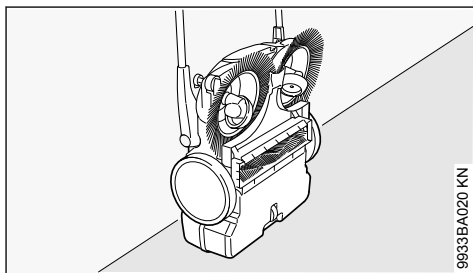
機械を立てた状態にして、コンパクトに保管することができます。

機械が倒れたり、固定されていないプッシュバーが開いたりすることがないように固定します。



9933BA015 KN

- ▶ プッシュバーを前方に折り畳みます



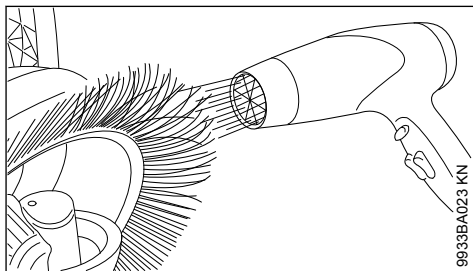
9933BA020 KN

- ▶ 機械を直立位置にして配置します

8 ユーザーによる点検と保守

8.1 曲がった毛ブラシを真っ直ぐにする

曲がったりねじれたりした毛ブラシは、加熱することで真っ直ぐにすることができます。



9933BA023 KN

- ▶ ヘアドライヤーを使用して加熱し、毛ブラシを真っ直ぐにします。

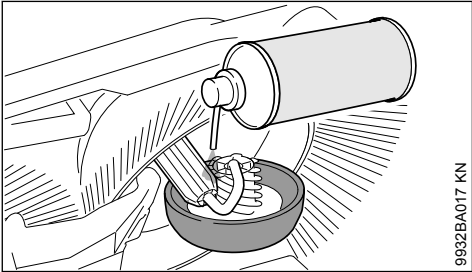
この目的で熱風送風機、裸火やトーチは使用しないでください。温度が非常に高いと、毛ブラシをひどく損傷してしまうことがあります。

8.2 ギア アセンブリの潤滑

ギアアセンブリはアルコールベースのシリコンオイルで滑りやすくできます。他の潤滑剤を使用するとギアアセンブリの正確な動作に影響する場合があります。

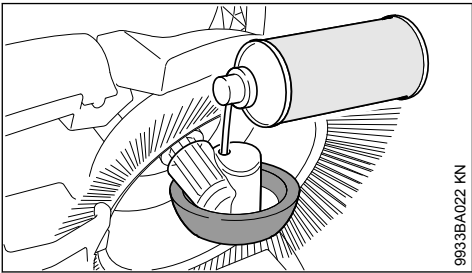
- ▶ 機械を直立して立てます。

8.2.1 KG 550



- ▶ ギアアセンブリ上に少量のシリコンオイルをスプレーしてください。

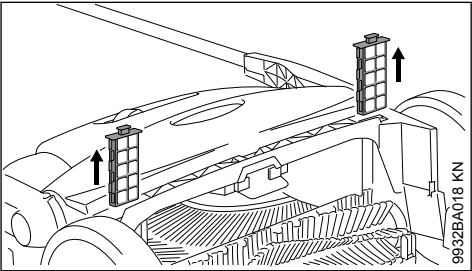
8.2.2 KG 770



- ▶ ホイールハウジングの開口部からギアアセンブリ上に少量のシリコンオイルをスプレーしてください。

8.3 KG 770 - エアー フィルターの掃除

- ▶ コンテナを外します。



- ▶ 両方のフィルターをガイドから引き出します。
- ▶ フォーム エレメントをフィルターから外します。
- ▶ フォーム エレメントを水で洗浄し、乾燥させてから、フィルターに再取り付けします。
- ▶ フィルターをガイドに再取り付けします。

9 整備表

以下の整備間隔は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が通常よりも長い、作業条件が悪い場合（粉塵が非常に多い場所等）は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。

		作業開始前	毎日 作業終了後または毎日	毎週	毎月	毎年	故障時	清掃時	必要に応じて
機械本体	目視検査 (状態)	X							
	清掃		X						
エアフィルター ²⁾	清掃								X

以下の整備間隔は、標準的な作業条件用です。毎日の作業時間が通常よりも長い、作業条件が悪い場合（粉塵が非常に多い場所等）は、それに応じて、表に示された間隔よりも短くしてください。		推奨作業時間	毎日	毎週	毎月	毎半年	毎年度	故障時	整備時	必要に応じて
	交換								X	
円形ブラシとスリーパーローラー ²⁾	目視検査（状態）	X	X							
	清掃									X
	交換は サービス店に依頼してください ¹⁾								X	
ギアヘッド	注油 ³⁾									X
安全情報ラベル	交換								X	
¹⁾ STIHL では、STIHL サービス店の利用をお勧めしています ²⁾ KG 770 のみ ³⁾ 「ユーザーによる点検と保守」を参照してください。										

10 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書の仕様を遵守して使用すると、本機への過度の磨耗や損傷が回避されます。

本機の使用、整備および保管は、本取扱説明書の記述に従って入念に行ってください。

安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容および警告事項に従わないことに起因するすべての損傷については、使用者が責任を負います。これには、特に以下が適用されます：

- STIHL が承認していない製品の改造
- STIHL が承認していない取り付け部品の使用
- 使用目的に合わない方法での本機の使用
- 損傷したコンポーネントを装備したままで機械を使用したことから生じる派生的損傷

10.1 整備作業

「整備と保守」に記載されているすべての作業を、定期的に行う必要があります。使用者がこれらの整備作業を自身で実行しない場合、それらの作業は承認された STIHL サービス店に依頼する必要があります。

これらの作業を実行しなかった場合、結果として損傷が発生することがあり、これには使用者が責任を負います。

特に、これには以下が含まれます。

- 保守作業をスケジュールどおりに行わなかった、作業精度が十分でなかったために発生した機械の損傷
- 不適切な保管に起因する腐食損傷およびその他の派生的損傷

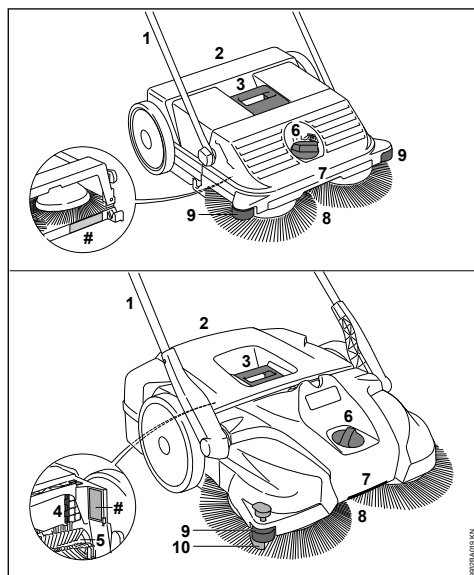
- 非 STIHL 純正スペア パーツを使用したことに起因する損傷およびその派生的損傷
- 非 STIHL 承認サービス店での保守や修理作業に起因する損傷

10.2 磨耗部品

この機械の部品によっては、規定通りに使用しても通常の磨耗は避けられません。これらの部品は、使用の種類や期間に合わせて適時に交換してください。磨耗する部品には、次のものが含まれます：

- 円形ブラシ
- スリーパー ローラー (KG 770 のみ)

11 主要構成部品



- 1 ブッシュバー
- 2 スイーパー コンテナ
- 3 スイーパー コンテナのハンドル
- 4 エアー フィルター (KG 770 のみ)
- 5 スイーパー ローラー (KG 770 のみ)
- 6 高さ調整
- 7 ハンドル
- 8 円形ブラシ
- 9 側面のガイド ローラー
- 10 ダウンホルダー
- # 機械番号

12 技術仕様

12.1 KG 550

論理清掃性能 1600 m²/h

スイーパー コンテ 25 l
 ナ容量
 重量 6 kg

寸法
 ブッシュバー (垂直)
 長さ 580 mm
 幅 550 mm
 高さ 1150 mm

ブッシュバー (運転位置)
 長さ 860 mm
 幅 550 mm
 高さ 950 mm

12.2 KG 770

論理清掃性能 2900 m²/h
 スイーパー コンテ 50 l
 ナ容量
 重量 13 kg

寸法
 ブッシュバー (垂直)
 長さ 800 mm
 幅 800 mm
 高さ 1270 mm

ブッシュバー (運転位置)
 長さ 1050 mm
 幅 800 mm
 高さ 1050 mm

12.3 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (CHemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com

13 トラブルシューティング

不具合	原因	処置
機械が押しにくい	円形ブラシやスーパーローラーが動かなくなっている	妨害物を除去します
	高さ調整の設定が低すぎる - 円形ブラシの表面圧力が高すぎる	清掃表面からの高さを調整します
	ギアコンポーネントが固着している	ギアコンポーネントにシリコンスプレーを吹き付けます ¹⁾
1) 「ユーザーによる点検と保守」を参照してください。		


14 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチールサービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチールサービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

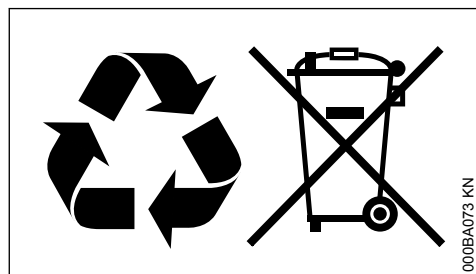
当社ではスチールオリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL**ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

15 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

www.stihl.com



0458-767-4321-A



0458-767-4321-A